
西成地域 日雇労働者の

就労と福祉のために

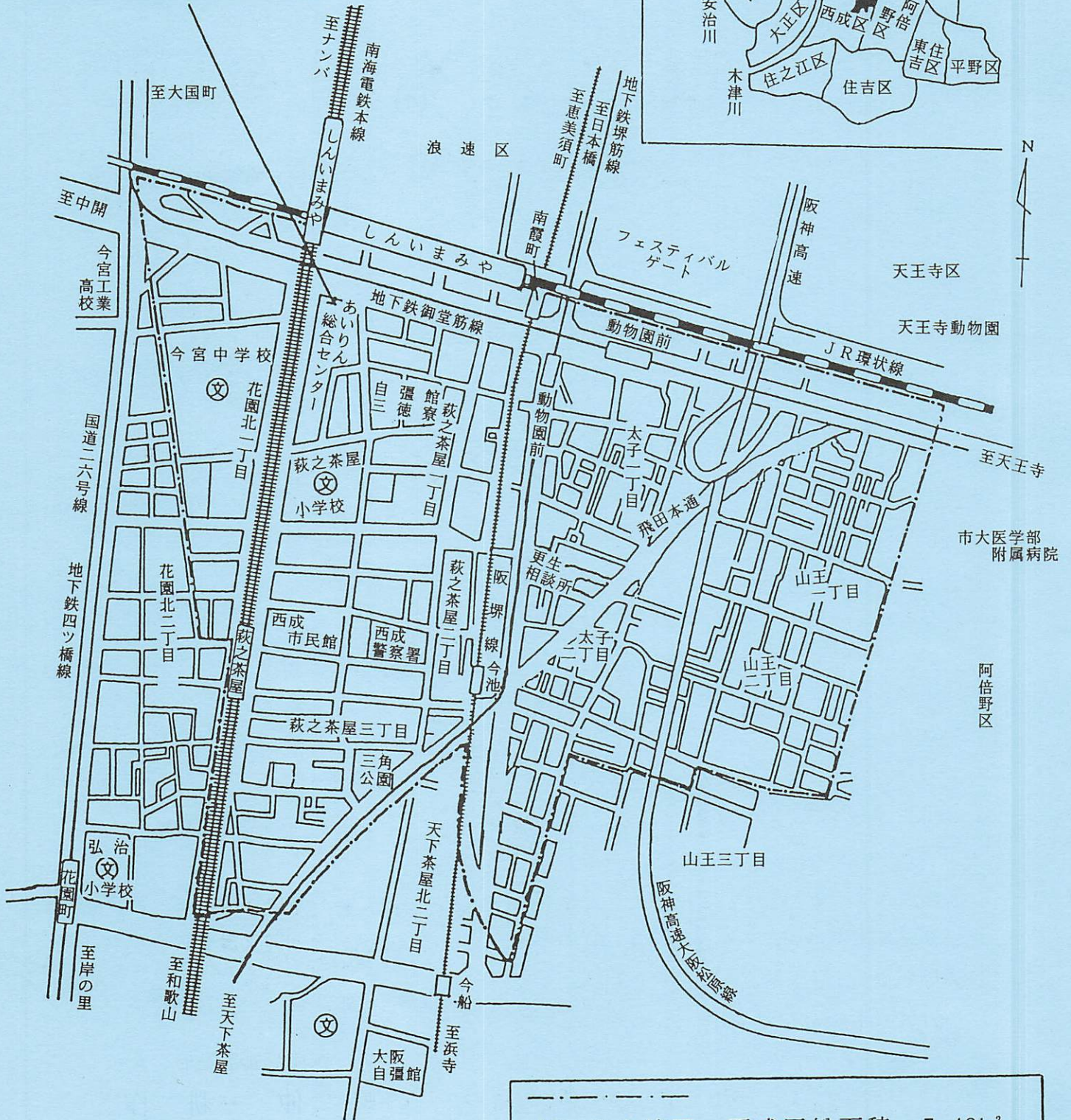
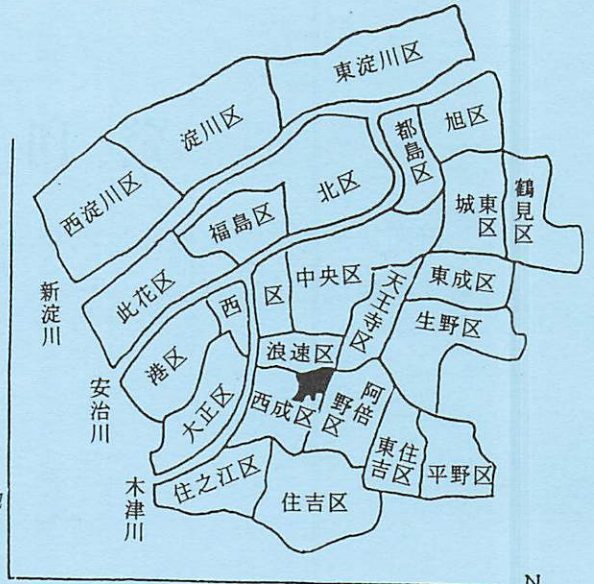
第38号

1999(平11)年度
事業の報告

財団法人 西成労働福祉センター

あいりん地区周辺要図

西成労働福祉センター
 あいりん労働公共職業安定所
 大阪社会医療センター
 勤労者福祉協会管理室



あいりん地区	西成区総面積	7.42km ²
	あいりん地区	0.62km ²
	(西成区総面積の)	8.4%

発刊にあたって

財団法人西成労働福祉センターは、1961（昭和36）年8月1日に発生した第1次釜ヶ崎事件を契機に、官民一体となって、あいりん地区労働者の雇用の安定・福祉の向上と生活の安定を図るべく、翌年10月1日に設立されたものであります。

この間、大阪府をはじめ関係行政機関、地域の諸団体各位の御支援と御協力を得ることにより、当センターに課せられた目的を微力ながら果たして参ることができ、この機会をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

あいりん地区は臨時・日雇の労働市場であり、経済の好況・不況の影響が直接に現れ、特に不況期においては極端に求人が減少するために、労働者の生活は非常に厳しく、不安定なものとなります。

また、近年、地区労働者の高年齢化が進行しており、あいりん労働公共職業安定所発行の日雇雇用保険手帳所持者の平均年齢の推移をみますと、1989（平成元）年3月末46.4歳であったものが、2000（平成12）年3月末には54.4歳となっております。

あいりん地区の雇用状況は、1990（平成2）年度をピークに減少を続け、阪神淡路大震災の復興需要による一時的な求人増はあったものの、不況の長期化等により、1996（平成8）年度以降3年連続して前年を大幅に下回るたいへん厳しい状況となりました。長引く不況の影響を受け、引き続き厳しい状況にあります。多少景気の回復の兆しが見え、1999（平成11）年度の求人はバブル崩壊以後、もっとも厳しかった1998（平成10）年度より15%の増となりました。

このような状況の中、とりわけ高年齢労働者の就労は難しく、雇用者側の年齢制限が以前に増して厳しくなっております。このため、センターといたしましては、高齢者求人開拓事業や技能資格取得促進事業を押し進めるとともに、高年齢者の就労の促進を図るために、求人開拓・雇用勧奨に努めてまいったところであります。

この年報は、当センターが1999（平成11）年度に実施した諸事業の概要を取りまとめたものであります。御一読いただき、あいりん地区労働者の就労と生活並びにセンターの事業について御理解を戴ければ幸いです。

今後とも当センターでは、地区労働者の雇用の拡大に努めてまいる所存でございますので、産業界各位の御理解と御協力並びに関係諸機関の一層の御指導と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

2000（平成12）年7月

財団法人 西成労働福祉センター
理事長 仲 耕作

目 次

I 職業紹介事業

1. 職業紹介	1
(1) 日雇（現金）の求人・紹介状況	1
(2) 期間雇用、一般雇用の求人・紹介状況	1
2. 高年齢者の職業紹介	21
(1) 高年齢者求人開拓・紹介状況	21
(2) 高年齢者「特別清掃」	22
3. 就労の正常化	28
(1) 求人事業所の登録	28
(2) 就労正常化促進特別指導	28
(3) 無届求人指導	28
(4) 一般事業所指導	28
(5) 事業所訪問	29
(6) 求人開拓	29
(7) 事業所調査等	29
(8) 事業主懇談会	30
(9) 求人事業所	30
4. 労働相談	37
(1) 労働相談実施状況	37
(2) 終結状況の内容	39

II 労働者福祉事業

1. 労働災害に関する相談と休業補償給付の立替貸付	43
2. 労働安全の取り組み	43
3. 技能資格取得促進	49
4. 医療相談	49
5. 労働者援助	49
6. 労働者福利厚生	50
7. 広報・啓発活動	51
8. 日雇労働者福利厚生措置事業	51
雇用保険と健康保険 =参考資料=	55
センターだより	56
組 織 図	58
沿 革	59